

DUCTILE TIMES

のどかな春の季節になりましたね。
日本の春夏秋冬にはそれぞれに特徴がありますが、四季の期間・季節の区切りはあるのでしょうか。

- ①気象学的な区別
(気象庁が用いている一般的な季節の区切り)
- ②天文学的な区別
(春分・夏至・秋分・冬至)
- ③曆による区別
(立春・立夏・立秋・立冬)
- ④年度による区別

などがあり、絶対的な定義は存在しないようです。

少しずつ移り変わる季節を自身の肌で感じながら四季折々楽しみたいですね。

DUCTILE TIMES編集部

DUCTILE TIMESに関する 重要なお知らせ

DUCTILE TIMESのお届け方法を2022年5月号の郵送を最後にメール配信へ変更します。

登録は下記メールアドレス、またはQRコードからご登録いただけますようお願い申し上げます。詳細は同封の「メール配信サービスのご案内」をご覧ください。

※4月号から変更のご案内をしておりましたが、6月号からとなります。

(登録用メールアドレス)

Kbt_g.dmwg@Kubota.com



ジャパンラグビー「リーグワン」 クボタスピアーズ船橋・東京ベイ

2022年1月に開幕したNTTリーグワン2022が、後半戦に突入しています。リーグは3部構成となっており、クボタスピアーズ船橋・東京ベイはディビジョン1で活躍しています。

4月9日(土)万博記念競技場(大阪府)で行われた第12節では、横浜キヤノンイーグルスと対戦し21対30で惜敗しましたが、12チーム中3位につけています。(4月9日時点)最終節までの活躍にご期待ください。

5月8日(日)に行われる最終戦の結果、上位4強のプレーオフトーナメントで初代王者が決定します。ぜひ応援のほどよろしくお祈りします。

クボタスピアーズ船橋・東京ベイでは、公式サイトその他、FacebookやInstagram Twitterでも随時情報を発信しています。ファンクラブ会員も随時募集しております。



<写真提供:クボタスピアーズ船橋・東京ベイ>

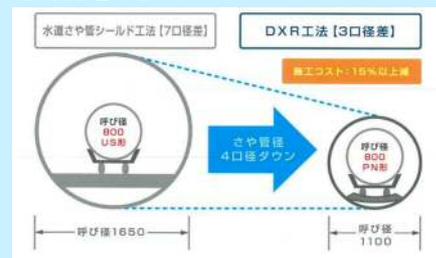
DXR工法のご紹介

基幹管路の更新において、開削や推進等の従来工法では施工が難しいなどの困りごとはありませんか。

DXR工法は、長距離・急曲線施工が可能で、呼び径700~1500の本管を呼び径1000~2000のさや管シールド内に3口径差で配管する非開削工法となります。

従来のシールド工法と比べて、さや管口径を4口径縮小できることなどから、施工コストを15%以上削減※することができ、経済性にも優れた工法です。

弊社の阪神工場(兵庫県)では、実機を使用して接合の様子をご見学いただけます。ご興味ございましたらお気軽に各営業担当までお問合せください。



※施工条件によって異なります。

施工情報システムを利用された 工事業者様の声

(株式会社内田工業
代表取締役 小田 賢一様
現場代理人 吉田 優一様)

今回、宮崎市上下水道局発注工事(GX形φ350×約400m)において「施工情報システム」を導入し、「サイトチェッカー」も試行的に活用しました。

「施工情報システム」の操作については、想像していたよりも簡単で工事初日で操作できるようになりました。「サイトチェッカー」については、計測しづらい管底部の測定が容易にでき、寸法測定も正確かつ瞬時に測定できるので非常に良い製品で画期的だと感じました。また、実際に使用している状況についても宮崎市上下水道局に現場にて見学していただき、非常に高い評価をいただきました。

今後はφ500以上の口径拡大や機能拡張を行って製品を発展させていただく事で、今以上に現場での作業軽減や確実な施工管理が行えるようになることを期待しています。



施工情報システムのPR活動を展開

～ 販売店様の取組み ～

(株式会社フソウ 宮崎営業所
荒川 慎治様)

初めてクボタに「施工情報システム」の説明を受けた際に、取り組めていなかった競合他社との差別化を図れる製品だと感じ、積極的に営業活動を行いました。

最初はおお客様へのPRが難しい面もありましたが、クボタとの同行による営業活動やデモを通じてお客様のニーズに気づき、粘り強く営業活動を継続した結果、お客様2社にご購入いただき、全国初採用の契約となりました。

今後も同製品を継続的にPRしてより多くのお客様に採用していただけるよう営業活動に取り組みたいと考えています。

近畿地方整備局様より感謝状をいただきました

近畿地方整備局様にて、災害に際し緊急出動し、被害拡大防止・軽減・応急対応・災害復旧等に協力した企業・団体へ感謝状を贈呈する「感謝状贈呈式」が2022年3月30日に開催されました。

弊社は、和歌山市での復旧支援活動に対して近畿地方整備局様より感謝状をいただきました。

今後も、地震やその他自然災害などお客様の有事に際しましては、緊急材料の供給、緊急工事サポート等で復旧活動を支援してまいります。

